



平成 31年 3月26日

深川市議会議長 長野 勉 様

会派名 民主クラブ
代表者名 会長 田中昌幸



政務活動費収支報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項（第2項）の規定により、下記のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収入
政務活動費 317,559 円

2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	167,809円	岐阜県郡上市(地域医療を守り育てるための取り組みについて)、瑞浪市(瑞浪市コミュニティバスについて) 11月5～7日
研修費	149,750円	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)「平成30年度市町村議会議員研修 第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」 4月24日～26日、
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	317,559円	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 差額 0円

別記様式第5号（第4条関係）



平成30年12月21日

深川市議会議長

長野 勉 様

会派名 民主クラブ

代表者名 会長 田中昌幸



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	平成30年11月5～7日				
実施場所	岐阜県郡上市、瑞浪市				
参加者名	田中昌幸、楠理智子、木根昭夫				
実績額	167,809 円（うち交付請求額 167,809 円）				
内 容	<p>○岐阜県郡上市（地域医療を守り育てるための取り組みについて） 11月5日（月） 15時00分～17時00分</p> <p>○岐阜県瑞浪市（瑞浪市コミュニティバスについて） 11月6日（火） 15時00分～17時00分</p>				

民主クラブ 行政視察調査報告

民主クラブ 会長 田中昌幸
幹事長 楠理智子
木根昭夫

この度、11月5～7日、岐阜県郡上市、瑞浪市で、行政視察調査を行いましたので報告いたします。

政務活動費の使用 167,809円

(航空機、宿泊料(2泊)、レンタカー、高速料金、ガソリン代等)

1、日程

- 1) 11月5日(月) 岐阜県郡上市
- 2) 11月6日(火) 岐阜県瑞浪市
- 3) 11月7日(水) 移動日

2、調査事項及び結果

- 1) 岐阜県郡上市 地域医療を守り育てるための取り組みについて
健康福祉部長兼福祉事務所長 丸茂 紀子 氏
健康福祉部次長兼健康課長 和田美江子 氏
健康福祉部健康^課の健康係長(地域医療担当) 本川 達也 氏

○あいさつ 丸茂 部長

この度はようこそ郡上市にお越しいただきました。郡上市では地域医療確保検討委員会を設置し様々な取り組みを進めておりますが、医師不足、医師確保の問題を抱えつつ、市民フォーラムの皆さんのご協力もいただきながら施策に取り組んでいます。

本日はよろしくお願いいたします。

○あいさつ 民主クラブ会長 田中

この度はお忙しい所受入れいただきありがとうございます。

当市では、実稼働180床の市立病院を中心に地域医療確保に努めていますが、整形外科医、小児科医、産婦人科医などで常勤医が不在の状況が続いており、医師確保に苦勞をしています。

郡上市では市民フォーラムの皆さんが地域医療を支えていると、HPで紹介されておりましたので実情をお聞きいたしたく伺いました。

本日は御市の取り組みを研修させていただきますのでよろしくお願い致します。

本川係長より

①第2期地域医療を守り育てる郡上市ビジョンの策定について

市内2つの公立病院改革プランを踏まえた将来構想を考えることが求められる。

②背景と目的

平成23年3月に『第1期地域医療を守り育てる郡上市ビジョン』を策定し、現状や課題等を確認しながら検討協議を重ねて来たものを、第2期に向けつなげる。

③地域医療確保検討委員会

病々連携、病診連携に関する事、公立病院等の望ましい在り方に関する事、その他地域医療の確保に関する事について検討し、委員15名、任期2年で結成

④郡上市の地域医療の課題

・医師不足と医療従事者の高齢化・救急医療、休日夜間医療の非急患受診、医師等の疲弊・へき地医療体制の中長期的維持・小児産科医療体制の負担と医師の高齢化 等々

⑤『郡上市の地域医療を考える市民フォーラム』からの提言

これまでの話し合いの内容を市全体に広める事

医療機関・医療従事者を守り大切にすること

郡上市の健康づくりをすすめる事

⑥病院機能の検討

市内4つの公私立病院のほとんどが同一機能を構えており、役割分担が必要

⑦新公立病院改革プラン

2025年における、郡上市民病院（150床）と県北西部地域医療センター国保白鳥病院（64床）の機能分化を明確化する

地域包括ケアシステムの構築

⑧市民活動『ガヤガヤ会議』の取り組み

平成19年から自治会連合会などが中心となって開催されていた『郡上市の地域医療を考える市民フォーラム』から、平成26年第5回目の開催後、有志が集まり『ガヤガヤ会議』が発足し市民活動に移行

『地域の土壌づくり』をキーワードに

地域に出向き団体を巻き込んだ企画会議を進め、市内7地域の内3カ所で開催

⑨まとめ

行政主導ではない、市民有志による活動が必要

市民、医療機関、行政が一体となって取り組んで行ける『土壌づくり』の形成が重要
地域医療を知ろう！そしてみんなに広げよう！

※調査のコメント

○田中

郡上市は、旧郡上郡7町村全域を市域としているため1,030km²と広大な面積を擁し、

42千人の人口を抱え、面積・人口共に深川市の2倍で、しかも、木曾路の山深い土地柄での合併市となっており、地域医療の確保に大変な中で、市民が主体となった取り組みをされていることと、行政がバックアップしている姿に大変参考になるお話を聴かせていただきました。

また、郡上市街を一望できる郡上八幡城は天空の城とも呼ばれ、どこからでもその威容を望める旧市街地には信号が一基も無いという、古い街並みが残された観光地としても一見の価値のあるまちでした。

○楠

郡上市は古い町並みが残り郡上八幡城が街中にそびえており風情のある街でした。郡上踊りも有名で9月7日～9日の盆踊りには多くの人が集まるようです。

「地域医療を守り育てるための取り組みについて」

地域医療を守り育てる郡上市ビジョンの策定にあたっては、市民フォーラムを開催し多くの市民の声を聞く工夫をしておりました。また、改革プランも将来を見据え地域包括ケアも含め市民の意見を聞くなどし、市内に2つある公立病院の役割など具体的に取り組みされていると感じました。

○木根

産科、小児科、整形外科等、常勤医師がいるので、深川市と比較すると恵まれています。但し、全国の地方公立病院の医師不足は共通のようです。

地域医療を守り育てるビジョンが、各自治体の共通課題となっております。

2) 岐阜県瑞浪市 瑞浪市コミュニティバスについて

議会議務局長 北山卓見氏

経済部長 鈴木創造氏、商工課長 小木曾昌弘氏、商工政策係 柿内博貴氏

○あいさつ 鈴木部長

瑞浪市は中央本線で名古屋まで快速電車で40分という通勤圏の立地条件にあり、市の西部地域にある工業団地にこの度、デンソーの工場誘致が実現し、来年度から200名程の新規採用が予定され、次年度は更に採用が予定されています。

また、市内北部地区には旧中山道の宿場町が2つあり、近年アメリカ等からの観光客も増えている所で、こうした方たちのコミュニティバス利用も進めて行きたい考えです。

○あいさつ 民主クラブ会長 田中

この度は大変お忙しい所受入れいただきありがとうございます。

当市も現在公共交通の見直しを進めておりますが、高齢化と人口減少が続く中市民の足の確保に苦心している所です。

本日は御市の取り組みを研修させていただきたくよろしくお願い致します。

○瑞浪市コミュニティバスについて

①瑞浪市の公共交通状況

JR中央本線、東濃鉄道バス、瑞浪市コミュニティバス、瑞浪市デマンド交通、東鉄タクシー、平和タクシー、小林タクシー、SKUタクシー（介護専用）

②瑞浪市コミュニティバスについて

市では東濃鉄道バス廃止路線を引き継ぐように平成10年4月から瑞浪市コミュニティバスの運行を開始し、運行ルート of 拡大、見直しを行っていて、昼間時間帯の買物、通院需要、朝夕の通学利用（小学生）にも対応している。

一部地域で、コミュニティバスからデマンド交通へ移行している。

総利用者数は年々減少傾向で、行政負担額は年々増大している。

9路線の内、5路線でワンコイン100円、4路線で100~400円のエリア制ワンコインで運営

収支状況は平成29年度で、走行経費4千5百万円、運賃収入額560万円、市からの委託料3千9百70万円、内県補助金690万円となっている。

平成28年から、中心市街地からタクシーで4千円ほどかかる日吉線をデマンドタクシー方式に切り替えた。これは、前日までの予約制で、観光客にも『いこCar』として活用できるようにしている。

運転免許の自主返納支援制度を活用した方に、5千円分のコミュニティ交通利用券を進

呈し、利用促進をはかっている。

※調査のコメント

○田中

9路線により市内くまなく設定されているが、一日1~3往復とほとんどが小学生の通学、高齢者の通院時間で設定されている。

地区人口が少なく利用の少ない路線をデマンドタクシーに切り替え、利便性を向上させているが、深川市としてはデマンドタクシー方式に利用が見込められ効果的と考える。

市街地でもバス停まで500m以上あると、そこまで歩くのが困難な高齢者が増えており、郊外対策も重要だが、市街地対策も必要になっている。

商工課は企業誘致も所管しており、ソニー撤退以来のデンソー工場進出に地元の若者採用を非常に喜んでおられ、さらに観光案内として、瑞浪市観光振興センターを紹介していただき、日本随一の陶磁器のまちとして『みずなみ焼』、『美濃焼』のセールスを受けました。

また、中山道大湫（おおくて）宿の旧森川訓行家住宅『丸森』の管理人に翌日のアポイントを取っていただき、平成28年11月から観光案内所として地元のボランティアを中心に活用を始めている施設や、神明神社の大杉、大湫観音堂、中山道の一里塚や石畳を案内していただきました。

この施設に観光客がデマンドタクシーを使うことが出来るようにしているという事で、公共交通に関する現地視察も行うことが出来たのは、視察地での宿泊をしたことによる収穫でもありました。

○楠

瑞浪市は中山道の途中にあり大名が宿泊した本陣があり、幕末に皇女和宮も通った道ということです。また、陶磁器の美濃焼の産地でもあります。

「瑞浪市コミュニティバスについて」

瑞浪市は8路線のコミュニティバスを運行し住民の足となっており、小中学生も利用をしているとのことでした。公共交通やコミュニティバスが運行されていない地域にはデマンド交通で対応しており、市民に対してきめ細かな交通手段をとっており、深川市においても参考になると感じました。

○木根

これまでの視察を通して、コミュニティバス、デマンド交通は、初期投資及び維持費が多額になる為、市の財政負担、費用対効果に大きな課題を有しておりました。

ところが、瑞浪市は民間に委託することにより、初期投資、維持費が非常に小さく深川市も大いに参考になる事例と感じました。



平成30年 6月28日

深川市議会議長

長野 勉 様

会派名 民主クラブ

代表者名 会長 田中昌幸 印



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	平成30年 4月24～26日				
実施場所	全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）				
参加者名	田中昌幸、楠理智子、木根昭夫				
実績額	149,750 円（うち交付請求額 149,750 円）				
内 容	<p>○平成30年度市町村議会議員研修〔2日間コース〕 第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～ 期間 平成30年4月25日（水）～26日（木） 4月25日 1、開講オリエンテーション・入寮オリエンテーション 2、決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢克祐 氏 3、決算審査の実践 4、交流会 4月26日 1、決算審査の新しいアプローチ 2、行政評価等を用いた決算審査の実践 3、閉講</p>				

民主クラブ 研修報告

民主クラブ 会長 田中昌幸
幹事長 楠理智子
木根昭夫

この度、4月24日～26日、公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎）にて、「平成30年度市町村議会議員研修〔2日間コース〕 第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」に参加してきましたので報告致します。

政務活動費の使用 149,750円

（研修費、研修生活動費、航空機、交通費、宿泊料（1泊））

1、日程

- 1) 4月24日（火） 移動日
- 2) 4月25日（水） 研修所入寮、研修
- 3) 4月26日（木） 研修、閉講、移動

2、研修内容

○4月25日

1) 開講オリエンテーション・入寮オリエンテーション

2) 決算の意義と審査のポイント

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢克祐 氏

3) 決算審査の実践

4) 交流会

○4月26日

1) 決算審査の新しいアプローチ

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢克祐 氏

2) 行政評価等を用いた決算審査の実践

3) 閉講

3、参加報告

○田中昌幸

決算カードや財政状況資料集を活用した、自治体議員としての決算審査の意義・重要性を、その審査の流れやポイントについて、講義を受けました。

4年前にも同様の研修会に参加させていただいた時は、行財政改革を徹底追

及するような切り口があったと記憶していますが、今回は、人口減少の更なる進行、超高齢・少子化、建物・設備の老朽化など、自治体にとって極めて厳しい状況下での、議会が果たすべき役割について研修する事が出来ました。

また、講師自身が秩父市で行政経営アドバイザーを務めるなど、多くの自治体で自治体財務等に実際に携わっている経験から、決算審査を重視した、行政評価や自治体財政計画の重要性を話されました。

深川市の財政は、データの上からも地方交付税に大きく依存した、硬直化が更に進んでいる状況がわかり、これを改善させるには一朝一夕にできるものではなく非常に大変な事ではありますが、議員、議会の立場からも提言が必要とのことでした。

さらに秋の決算審査を翌年の予算審査に着実に繋いで行くことで、PDCAサイクルの確立も図ります。

夜の交流会では、名刺交換を交え、関西や九州からの自治体議員と意見交換をする事もでき、有意義な研修となったことを報告致します。

○楠 理智子

2日間、研修を受けながら今までの予算審査、決算審査に臨んで来たことを振り返ってみるといかに全体を見ないで一部分しか見ていなかったと思いました。また、深川市の財政は厳しくなっており人口減少にも歯止めがかかっていない現状では、決算審査の歳入、歳出等の相対的に見ていくことも重要と感じました。

○木根昭夫

総務省の健全化法において、「実質赤字比率」、「連結決算赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担率」が、健全化判断比率の基準内にあるか否かを、重要視しておりました。

地方自治体の財政は、人口減少、高齢化、建物・設備の老朽化等、非常に厳しい状況の中で、議会が果たすべき役割は何か？という問題意識の中で、1泊2日の研修を受けました。

自治体の決算書に基づき、歳入においては「調査決定額（調定額）」を、歳出においては「翌年度繰越額」「不用額」を、また、公有財産、基金の運用について、目の付け所を、学びました。

さらに、各自治体が公表する「決算状況」、「類似団体比較カード」を、きめ細かく分析することにより、決算審査を次年度以降の予算審議に結びつけることを学びました。

この研修で得たことを、どのように活用できるのか、研究して行きたいと思えます。